

**No. 366【2019年7月26日配信】**  
**青森市内で発見された出土銭(担当:児玉)**

こんにちは。文化財課の児玉です。

昨年あたりから「〇〇ペイ」という言葉をよく耳にします。スマートフォンでクレジットカードや電子マネーが使えるキャッシュレス決済サービスのことで、雨後の竹の子のように次々と「〇〇ペイ」が誕生しています。私もレジ前で決済選択に苦戦しながら「〇〇ペイ」を利用しています。

さて、お金といえば、青森市内からは鎌倉時代から江戸時代の初め頃までの銭貨を埋蔵した場所が、奥内や新城、原別地区などから発見されています。銭貨が土の中から発見される理由として、戦乱から回避するための備蓄銭、神仏に奉納した埋納銭などの説があります。

発見された出土銭の場所や概要は、以下のとおりです。また、埋蔵された推定年代の根拠となる最新銭(出土銭貨の中で最も新しい銭貨)の年代も記載しておきます。

**【尻八館遺跡】**

永楽通賽(初鑄年:1408)を最新銭とする200枚近くの銭貨が出土。このうち、ひとつの土坑から99枚の銭貨が出土しました。

**【奥内出土銭】**

奥内地区の水田で、甕の中から<sup>さし</sup>縹の状態で見つかったとされています。至大通賽(初鑄年:1310)を最新銭とする約11,000枚の銭貨が出土しました。

**【油川出土銭】**

永楽通賽(初鑄年:1408)を最新銭とする約950枚の銭貨が発見されました。

**【新城出土銭】**

平成3年(1991)に、曲物の中から縹の状態で見つかったとされています。弘治通賽(初鑄年:1503)を最新銭とする約15,000枚の銭貨が出土しました。

**【千刈出土銭】**

大正15年(1926)に木製の容器2個から38貫(およそ142kg)分の銭貨が見つかったとされ、洪武通賽(初鑄年:1368)を最新銭としています。

**【原別出土銭】**

昭和46年(1971)に、至大通賽(初鑄年:1310)を最新銭とする約4,600枚の銭貨が出土しました。

**【野内出土銭】**

昭和46年に、宣徳通賽(初鑄年:1433)を最新銭とする3,000～5,000枚の銭貨が発見されました。

### 【浪岡城跡】

内館の土坑（SP11）から永楽通寶（初鑄年：1408）を最新銭とする 5,971 枚の銭貨が出土し、北館の土坑から洪徳通寶（1470）を最新銭とする 903 枚の銭貨が出土しました。これらのほかにも堀跡からまとまった銭貨が出土しています。

これらのうち、奥内出土銭と新城出土銭の一部は、「縄文の学び舎・小牧野館」に展示しています。

また、8月11日（日）10時から『めざせ！世界遺産！！こまきのヴィレッジまつり』も同館で開催されます。当日は、縄文時代や自然をテーマにしたワークショップのほか、アフリカン太鼓や津軽三味線の演奏、スポーツ鬼ごっこ体験など盛りだくさん。推薦候補決定記念クイズラリーも実施しますので、足を運んでいただけたら嬉しいです。



緋の状態で見つかった新城古銭